

教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	子どもサイエンスフェスティバル 秦野大会			
題名・副題	水をつかもう ～水の大切さを知る～			
月日・時間	2020年2月22日(土) 10:00～15:00			
開催場所	秦野市立はだのこども館			
部会・講師名	大気・水環境部会 吉村美男	参加数	120名	講師数 6名
写真				
	水をつかむ実験ブース、参加者減少		つかめる水、実験指導	
				
	つかめる水玉作りに挑戦		はだのこども館、エントランス	
成果解説	<p>「子どもサイエンスフェスティバル」は、「県内各地で科学のおもしろさ発見」をテーマに県・青少年センターが開催しています。今回、秦野大会に当会から、昨年に続いて「つかめる水」～水の大切さを知る～をテーマに出展しました。</p> <p>今回は新型コロナウイルス感染防止の配慮から来場者が少なく、昨年の半数、午前 85 名、午後 35 名の 120 名が当会ブースに来場がありました。この「水をつかむ」実験は、アルギン酸ナトリウムと乳酸カルシウムを化学反応させて子どもたちが手をつかめる水玉を作る実験を体験するものです。実験手順は、ステンレスボウルに乳酸カルシウム水溶液を入れ、その中にアルギン酸ナトリウムをお玉でゆっくり入れて、ヘラで3分間ゆっくりゆっくり混ぜると、アルギン酸カルシウムの水玉がうっすらと見えてきます。3分後、子どもたちはその水玉を手のひらにすくい上げ、不思議な感触を体験、保護者は「ワーッキレイキレイ」と歓声、カメラを向けながら、化学実験の達成感を楽しみました。</p>			